

## 仕事と家庭のインターンシップinあいち

※愛知県事業

名古屋大学学生による  
報告会のご案内

愛知県が昨年度から実施している「仕事と家庭のインターンシップinあいち」に名古屋大学学生が参加しました。このインターンシップは、企業等で就業体験をするだけでなく、ここで働く子育て中の従業員の家庭を訪れ、家事や育児も体験し、仕事と家庭の両立について理解を深めることを目的としています。

報告会では、インターンシップの体験内容や、参加を通しての意識の変化、仕事と家庭の両立に向けての決意等をプレゼンテーションします。

**日時** 平成31年1月25日（金）午前10時30分～12時00分 開場＝10時00分

**場所** 名古屋大学東山キャンパス ナショナルイノベーションコンプレックス（NIC）  
1階会議室 Idea Stoa

**定員** 60名

**対象** 名古屋大学、近郊の大学等の大学生・教職員等  
（どなたでも参加できます）

**内容** 裏面プログラムをご欄下さい。



**申込方法** 以下の内容を本文記入し、メールでお申込みください。

- ①氏名②大学・企業名③所属部署名（学生の方は、学部・研究科名及び学年）
  - ④連絡先（メールアドレス）
- 【申し込み先メールアドレス】shigototokatei@chunichi.co.jp

※メールの件名に「名大活動報告会参加希望」と必ず記載してください。

※先着順で受付し、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

※聴講券等の発送は行いませんので、お申込みの上、直接会場にお越しください。なお、定員超過の場合のみメールでご連絡させていただきます。

**問合せ先** ○仕事と家庭のインターンシップinあいち事務局  
（中日新聞社内）052-221-1023（平日：午前10時～午後5時）

**主催** 名古屋大学男女共同参画センター、名古屋大学文系事務部、愛知県

愛知県事業「仕事と家庭のインターンシップinあいち」は、中日新聞社が受託し、実施しています。

# 報告会プログラム

## 開会挨拶

名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授  
心の発達支援研究実践センター長 金井篤子氏

## イントロダクション（アドバイザー）

## 学生報告

名古屋大学経済学部3年 加納荘大さん（受入先：デンソー）

名古屋大学文学部3年 近藤由起さん（受入先：瀬戸市役所）

名古屋大学法学部3年 松原広華さん（受入先：春日井製菓）

## グループトーク

## 報告者と参加者のトークセッション

## まとめ（アドバイザー）

## 閉会挨拶

名古屋大学男女共同参画センター教授 榊原千鶴氏

\*\*\*\*\*

終了後、NIC多世代共用スペースをご案内（希望者）

※名古屋大学学生・教職員及びその家族が、子供を連れて勉強や  
仕事・打合せなどに利用できるスペースです。



アドバイザー  
上松 恵子氏

ワークライフ  
バランスコン  
サルタント

オフィスリブラ代表。  
出産・育児を機に大好きだった  
仕事を退職せざるをえない経験  
を二度持つ。広告会社、学校法  
人、NPO等のための中間支援組  
織での勤務経験があり、営業・  
広報・総務等の幅広い職務を経  
験していることから、その企  
業・業種・職種に最適なアドバ  
イスを実施。

報告者  
加納荘大さん

名古屋大学  
経済学部経営学科  
3年

コメント  
男性は周りの目が気  
になって育児参加は  
しづらいもの、と  
思っていたが、男性  
課長が楽しいそうに  
両立している姿を見  
て、男性も育児参加  
していい、むしろす  
るべきなんだと印象  
が変わりました。

報告者  
近藤由起さん

名古屋大学  
文学部人文学科  
3年

コメント  
自分自身の中にも男女  
の役割分担意識を持っ  
ていたこと、両立を阻  
む要因は自分にもある  
と気付かされました。  
生き方の選択にまで勤  
務先が責任を取ってく  
れるわけではない、と  
いう言葉が印象に残っ  
ています。

報告者  
松原広華さん

名古屋大学  
法学部法律政治学科  
3年

コメント  
インターンシップ以前  
は、女性が家事を担う  
ということが当然の前  
提として自分の中に刷  
り込まれていたように  
思います。家族がチー  
ムとなり家事をする姿  
を見て、将来両立して  
いく自信がついたよう  
に思います。